

この会報も今月号で30号となります。2014年の1号発行からから2年半が経ち、30号の発行を迎えることが出来たのは、本会の活動に賛同して頂いている皆様のお蔭と厚く感謝申し上げます。

講演会や勉強会で先人の偉業について学ぶ中、高槻の文化・名勝にも出会うことが出来ました。18号で紹介した「高槻八景」や、29号で紹介した「じゃこまめ」です。どちらも知る人が少なくなっています。人物について学び語り継ぐだけでなく、この様な時間経過とともに忘れ去られようとしている文化・名勝にも目を向けて、語り継いで行きたいし、存続させていきたいと考えています。今後も皆様のご協力を頂いて、高槻に誇りを持てる活動を進めて行きたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。(山本)



高槻市マスコットキャラクター
『はにたん』

■市民団体「シニア 100 ネット高槻」において

『高槻名誉市民』に関し講演行う。

この会は、「高槻市近隣の中高年者が生涯現役の気概を持ち、100歳まで元気で、会員相互に親睦を深めること」などを目的とした団体です。

今回は9月の例会として「高槻名誉市民」を取り上げていただきました。

一部は「初代市長 磯村弥右衛門の偉業」の講演を我が会の会長が行い、淀川大洪水の大塚切れの経験が彼の生涯の仕事として取り組む元となり、また高槻市発展の礎を築いた先人の偉業を振り返りました。

二部は「高碓達之助の一生」で前茨木高校教員の北村さんの講演で、高槻市が生んだ優れた企業家で国際的な政治家として、人間の幸福を思い、大胆に行動を起こした高碓翁の人となりを振り返りました。

9月は5日(月)13日(火)21日(水)で、毎回30~50名の会員が参加されました。追加として10月は20日(木)行われます。ご興味のある方はシニア100ネット高槻にお申し込みください。



■会員紹介：馬淵晴彦氏

わたくしは高槻に住まいし50年になります。65才で企業としての役職をすべて退き、何をしようかと迷っておりました。その折、企業人の時は見たこともない広報を見て応募し、行政改革委員をさせていただきました。その際評価を行うべく高槻市を調査する中で、高槻にはなんて素晴らしいものがあると感じ、伝える使命があるのではと思いました。

語り継ぐに『高槻名誉市民』を選んだのは以前から高碓翁に興味を持っていたからです。

思います、我々は先人に学び、現在に活かし、未来に語り継ぐ必要があると……。

■緊急お知らせ

1. 設立総会開催—10月24日

社会的にも認められた公的な組織にするため、我が会をNPO団体に变更予定です。ご援助のほどよろしくお願いいたします。

2. 講演会実施—11月28日 15:30

高碓翁企業編で、東洋製缶(株)前専務甘田外成氏をお迎えし、『高碓翁と東缶スピリッツ』に関しご講演の予定です。

【クロスパル高槻第一会議室】

■たかつきNPO協働フェスタ参加—10月8日

これは、高槻市市民公益活動サポートセンターの登録団体全組織が、連携して企画する年に1回の祭典です。市民の方々が高槻の動団体を知ることのできる良い機会であります。

我が会も出展させていただき、“故郷をもっと知ろう”をアピールし、活動報告をさせていただきます。

【場所：高槻生涯学習センター1階】

